

● 配合設計

使用される環境や用途に応じた専用設計

① ベースポリマーの選定

使用環境や用途に応じて選定。コンパウンド中の組成を司る主骨格の有機高分子(ポリマー)の選択は、最も重要な要素となります。

② フィラー類の選定

ベースポリマーの決定に伴い、ターゲット物性値を設定し必要に応じた「補強材」「充填材」等の選定及び添加部数(量)を算出します。

③ 加硫系・促進剤・機能系添加剤の選定

硫黄または過酸化物、成形加工区に応じた促進剤の選定・設計及び、機能系助剤等の有無により配合設計を確立いたします。

⑤ 成形確認

キュラストチャートでの成形条件確認の後、成形によりターゲット物性等のチェックを行い最終的に各加工区での成形を行います。

④ コンパウンド

ベースとなるポリマーもメーカーや同素材で様々御座います。経験やノウハウから導き、ブレ硬度を考慮したフィラー類可塑剤の選定、添加部数等も経験や実績により算出いたします。

指定素材での設計も可能です。一貫生産だからこそ、加硫系も含めた最適な設計が可能です。シリコンやウレタンも各種実績があり、液状ポリマー類もご相談お受け賜り致しております。

環境対応

RoHS指令等各種環境対応もご相談承ります。

お客様の「満足」の為に共に挑みます



アナログレコード界で旋風を巻き起こしている「トップウイング」様が開発された「カートリッジ」に当社製のダンパーゴムが採用されています。世界各国で様々な高評価を獲得している「青龍」「朱雀」。レコード針が拾う振動をコイルにて「音」へ変換する際の重要パーツである「ダンパーゴム」開発に、当社のノウハウと技術が生きています。「専用配合設計」だから実現できた一例です。

東商ゴム工業(株)だからできる事。ご要望・ご要求を満たす為に専用配合設計でジャンルを問わず「ゴム」で貢献いたします。